

－ 卒寿記念－ 鶴岡義雄展

■ 鏡の空間 平成 15 年（2003）



4/14[土] ▶ 6/3[日]

【開館時間】午前 10 時～午後 6 時（入館は午後 5 時 30 分まで）

【休館日】月曜休館（ただし 4/30 は開館、5/1 は休館）

【入館料】一般 500 円・団体 400 円（10 人以上）・高校生以下無料、

※会期中は常設展と板谷波山記念館もご覧いただけます。

今月卒寿（90 歳）を迎え、日本洋画壇の重鎮として、なお新しいイメージを追求する作品を制作し続ける鶴岡義雄。しもだて美術館では、二科展出品作を中心に、500 号の大作を含む油彩画 41 点による『卒寿記念 鶴岡義雄展』を開催します。



■ ソウル・ド・パリ 昭和 48 年（1973）第 59 回二科展・内閣総理大臣賞



■ 月下三舞妓 昭和 54 年（1979）

関連行事・映画会『**巴里の空の下セーヌは流れる**』

監督ジュリアン・デュヴィヴィエ 1951 年フランス作品

5/13 [日] 午後 1 時 30 分～アルテリオ集會室 **入場無料**



しもだて美術館

Shimodate Museum of Art

<http://www.city.chikusei.lg.jp/museum>

筑西市丙 3 7 2 アルテリオ 3 階

TEL 0296-23-1601

主催／しもだて美術館・筑西市・筑西市教育委員会

後援／社団法人二科会・茨城文化団体連合・茨城新聞社・二科会茨城支部

大正 6 年（1917）土浦市生まれ。昭和 7 年（1932）県立土浦中学校在学中に画家を志す。昭和 12 年（1937）日本美術学校に入学。昭和 14 年（1939）二科展初出品、初入選。キュビズムや抽象主義など新しい表現様式の確立を目指した意欲作を制作。昭和 25 年（1950）二科会員。平成 2 年（1990）日本芸術院賞受賞。平成 6 年（1994）日本芸術院会員。二科会理事長などの要職を経て、現在も日本洋画壇の重鎮として活躍。



鶴岡 義雄

編集後記

滄海の一粟。大海の中の一粟の粟で、広大なものの中の極めて小さいものたえである。今は一票であるが『筑西ふるさと大使』の力添えて本市が世界に轟く姿に思いを馳せる。（も）

松木安太郎さんによるサッカー教室を取材。その指導ぶりにはテレビのサッカー番組で見せる熱いキャラクターそのまま、サッカークラブを愛する松木さんの気持ちが伝わる教室でした。（∞）

河間小の卒業式、別れの言葉は谷川俊太郎さんの詩だった。夢と希望を持つて羽ばたき出す、卒業生たちの力強い声に、取材した私まで奮い立つ思いがした。みんなありがとう。（ま）

朝 7 時に起床して乾布摩擦、10 時には抹茶とお菓子、普段は汚れたガウンでも出掛ける時は着物にオーデコロン…。孫の駿一さんによって語られる波山。その人柄も魅力的です。（@）



3 月下旬に市役所駐車場で咲いた『越の彼岸』。筑西市誕生一周年を記念して、昨春植えた 4 種の桜のひとつです。